

獨協大学外国語教育研究所主催 第13回公開講演会
Institute for Research in Foreign Language Teaching, Dokkyo University

日本に複言語主義は 必要か？ —ヨーロッパとの対比で—



境 一三氏

獨協大学外国語学部ドイツ語学科特任教授・
慶應義塾大学名誉教授

- 日 時：2023年6月17日(土) 13:00～15:00
- 開催方法：対面形式およびZoomライブ配信(学内会場またはZoomでのライブ視聴にてご参加いただけます)
- 場 所：獨協大学東棟2階 E-202教室
- 参加費：無料
- 申込方法：事前申込制
獨協大学ホームページ「第13回公開講演会申込ページ」
またはQRコードよりお申込みください。
※申込みページにて対面参加またはZoom視聴をお選びください。
- 主 催：獨協大学外国語教育研究所
- モデレーター：三谷 裕美(外国語教育研究所主任研究員)



▲お申込みはコチラ

 獨協大学
DOKKYO UNIVERSITY

日本に複言語主義は必要か？ —ヨーロッパとの対比で—

開催趣旨

欧州連合をはじめ多くの国際機関では、長年にわたり複言語主義が推進され、多様な言語を話す人々が共に生活するための指針となっている。新型コロナウイルス感染症の影響から脱して国内に多様な言語を話す人々がさらに増加し、彼らとの共生が喫緊の課題である今、日本がヨーロッパの先例から学ぶことは多いと思われる。

本講演会では、慶應義塾大学名誉教授で、現在本学外国語学部特任教授の境一三氏を講師に迎え、現地調査で訪れたヨーロッパ諸地域の言語使用と言語教育の現状を解説していただき、日本における複言語主義の意義と今後の言語教育や社会全体での取り組みについて参加者と共に考える機会としたい。

プログラム

- 12:30 受付・会場開始 ※12:45 Zoom接続開始
13:00 開会
13:10 境一三氏による講演（60分）
14:10 休憩（10分）
14:20 質疑応答（40分）（モデレーター：三谷 裕美 外国語教育研究所主任研究員）
15:00 閉会

<講師> 境一三氏 獨協大学外国語学部特任教授、慶應義塾大学名誉教授

成蹊大学法学部専任講師・助教授、慶應義塾大学経済学部助教授・教授を経て現職。専門はドイツ語教育を中心とする外国語教育学。主著に『外国語教育を変えるために』（三修社、2022年、共著）、『多言語教育の意義とは？』（iudicium Verlag、2021年、共編著）、『イタリア・南チロルにおけるCLIL—ドイツ語系学校への導入を巡って—』（『言語政策』16、2020年、共著）、『ことばを教える・ことばを学ぶ：複言語・複文化・ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）と言語教育』（行路社、2018年、共著）、『多言語主義社会に向けて』（くろしお出版、2017年、共著）など。

【参加までの流れ】

1 申し込む

獨協大学ホームページのイベントページ「第13回公開講演会」の申込URLまたはQRコードから申し込み（ウェビナー事前登録）をしてください。



▲お申込みはコチラ

2 確認メールを受信

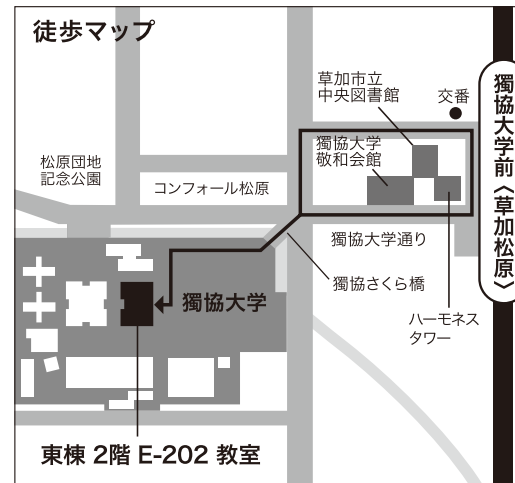
ウェビナー事前登録ページで入力されたメールアドレスに自動送信されます。
*対面参加の方：開催日当日、会場まで直接お越しください。
*Zoom参加の方：ご参加いただく際に必要なURLが記載されています。事前にご確認ください。

3 開催1週間前および前日に リマインドメールを受信

4 当日

*対面参加の方：東棟2階E-202教室にて12時30分より受付開始となります。
*Zoom参加の方：12時45分よりアクセス可能となります。申込み完了メールに記載されているURLをクリックしてご参加ください。

5 講演会終了後、アンケートに回答



獨協大学

〒340-0042 埼玉県草加市学園町1番1号
東京メトロ日比谷線・半蔵門線直通
東武スカイツリーライン
「獨協大学前〈草加松原〉駅」
西口より徒歩5分

<連絡先>

獨協大学外国語教育研究所
TEL: 048-946-1845
FAX: 048-946-1846
メールアドレス: gaikokugo@stf.dokkyo.ac.jp
HP: <https://www.dokkyo.ac.jp/research/amanoken/>

